

令和5年度 第6回 市民活動支援センター運営委員会

	令和5年10月21日(土) 10時00分～12時10分							
会場	市民プラザあくろす2階 はばたき							
運営委員	欠席	村上 むつ子	会場	平澤 和哉	欠席	横山 真理	会場	水田 征吾
	欠席	加藤 和歌子	会場	毛利 勝	会場	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	石井 洋子	会場	阿部 秀樹	会場	浜本 正樹	会場	石正 房江
	会場	安藤 雄太	会場	佐竹 澄子	会場	熊谷 紀良	会場	松谷 知彦
	会場	田村 敦史	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ				
事務局	池田、上野、伊藤							

1 はじめに

各委員より近況報告を行った。

《協議事項》10:20～11:30 (70M)

2 えんがわフェスタについて

資料1

【事務局】 前回の運営員会では、えんがわフェスタを通じて「外国籍の方たちと隣人として付き合える」ために理解を深めるという話でまとまっている。調理を中心とした企画案があったが、時間を大きくとってしまう懸念があるため、短時間で作り終えるデザートなどに変更して調整するようにしたい。

「調布のまちが、こうなったらいいな」というテーマでの外国籍スピーカーの方の講話。意見交換などを活発に行いたい。

定員やゲストスピーカーの調整、協力者については課題が残っているので、ご協力いただける方がいたらご紹介いただきたい。

3つのグループに分かれ、えんがわフェスタ開催に課題について検討するグループワークを行った。

- 【こども】
- ・食事をメイン企画で開催したかったが、難しいとわかった。各国のリフレッシュメントタイムを中心に企画したい。
 - ・50人+委員分を調理すると、けっこうな数となる。スープ系などは簡略化できる。アレルギー対応についても課題。
 - ・広報にするにはチラシが欲しい。Tiktok、インスタを使うと、おすすめで流

れてくる。

外国籍の方は公募か。広報はどうするか。外国籍の方は児童館などを利用しているか。行政施設などにチラシの広報、外国籍の方が経営している店舗などにチラシを配布。日本語がわからなくても大丈夫と記載する。

- ・子どもでも参加できるか。親子が対象。年齢は限定しない。

【高齢者】

- ・企画は誰を対象としたものかを考える必要がある。課題は、対象者。地域課題を知らない人に向けてか、問題意識を持っている人に向けてかによって、プログラムの中身が変わってくる。知らない人には料理は有効だと思うが、問題意識を持っている人にはシンポジウムが有効なのではないか。

【ジェンダー】

- ・動員で苦勞することが予想される。定員について、外国籍を25名集めるのは大変ではないのか。口コミなど知り合いを呼んでも15名程度が限界ではないか。市内在住に限定しない方がいい。
- ・リフレッシュメントタイムで出すのは、お菓子に絞ると女性から喜ばれるのではないか。食事を用意するには、事前に参加人数を確定することも重要。チラシはなくても、協力者を集める声掛けはしてもよい。

各グループで出し合った課題について、再度部会で具体的に整理をすすめることとなった。

3 運営委員会の今期の取組みについて

資料2

前回の運営委員会で各グループが話し合った内容について協議した。

【こども】

大学同士がつながるといい。コロナ禍でつながりが途切れてしまった。

コロナの期間にサークルの形が変わってしまった。

学習支援か、放課後の遊び場に焦点を当てるのか、企画を考えるのか。

イベント企画や、調査などが候補となる。

小学生、中学生の孤独、自宅の帰宅後に家族のいない時間がある。不安はないのか、埋められることはないか。どんな課題があるのか、調査。メディアでは取り上げない。昔はひとりぼっちではなかった。

誰かといっても、YouTubeを見たり個人の時間を過ごすのでは。

自分の子どもの場合は、帰宅後ゆっくり話す時間がなく小学生の時間を過ごさせてしまった。さみしかった、留守番が怖かった、という。

ゲームをやっている、誰かがそばにいればいい。コロナ禍もあり、協力者を募ることも難しいケースがあった。

空白の時間を家で暇にさせない工夫はないか。中学生となれば、部活もあり空白の時間は減少する。友達関係も難しくなる。

子どもも頑張っている。子どもにほっとさせてあげられる場所はないか。

ファミリーサポートの利用、小学生の利用ができるよう範囲を拡大。

既存の場所、制度の調査も必要。放課後カフェ(小金井)などもある。

小金井の取り組みを視察する。

大学のマンパワー、サークルに校内カフェを実施してもらう。

一緒に何かを作る。大学間の協力など。大学生は子どもの接し方がわからない。大学生自身も成長につながる。こどもカフェなど。

【高齢者】 高齢者の何を取り扱うのか。高齢者の孤立。社会的にも盛んに課題として取り扱われている。様々な取り組みがあり、居場所などがある。一方で、用意された場所には行きたくないと思える人がいることも事実である。喫茶店には毎日来てくれている人もいる。干渉されたくないが、人はいてほしい。成果を求めず、当事者となっている方の意見を聞き、調べて分析することが必要だと考える。高齢者が高齢者を支える構造も必要だと分析しながら考えていく。

【ジェンダー】 50代男性。地域と関わりの少ない男性が、会社などの関わりが無くなったときに、地域にできるきっかけを作る。女性にも当てはまることである。性別を限定しない方が良い。地域に出たくない方もいる。無理なく自然と参加できるしくみがあるといい。多摩川住宅のたまの手の様に、安価な値段で生活を手助けする仕組みは関わりを持つ機会となるのではないかと考える。

各グループに共通したことは、テーマについての調査や調べていくことが必要だと感じたことであった。掘り下げていくことも検討する。

《報告事項》 11:30～11:50 (20M)

4 調布サマーボランティアの結果について

資料3

【事務局】 今年度の実施報告。42プログラムに延べ249人が参加。
参加者は昨年比の約2倍に増加した。活動の内容は、調布サマーボランティア活動報告BOOKにまとめた。参加者を対象としたアンケートでは、「ボランティアが楽しかった」85.4%、「ボランティア活動の前と後で、新しい気づきや変化があった」87%、「今後もボランティアをしたい」84.4%の回答があり、満足度の高いプログラムとなっている。
また、調布サマーボランティアをきっかけに、継続的なボランティア活動者となるケースが報告されており、一定の成果を感じている。

【委員】 50代男性に向けたプログラムを期間限定で企画したらおもしろいと思う。

5 おはなしほっとカフェの開催結果について

【事務局】 9月30日、半年ぶりにおはなしほっとカフェを再開した。
3組の親子が参加し、自然と情報交換や相談が始まり交流が広がっていた。
次回は12月9日、クリスマスイベントを企画中である。
運営委員も開催に関わってほしい。関わってくださる方は、個別でお知らせいただきたい。

また、11月13日には、こんぺいとう子育てひろばで、おはなしほっとカフェから派生した「こんぺいとうおしゃべり会」が開催予定である。

【委員】 自然な感じで親子がお話されていることが印象的であった。
いい取り組みだと思った。

6 ちょうふチャリティーウォークについて

【委員長】 10月29日開催予定。
ちょうふチャリティーウォークの参加費は、全てえんがわファンドの原資となる。市役所前に模擬店も出店する予定。チラシの裏が参加申込書となっている。皆さんにお渡ししますので、ぜひご参加いただきたい。

7 拡大センター長会議の開催結果について

資料4

- 【委員】 9月5日調布市市民活動支援センターで開催。
71名が参加。オンラインと並行して開催。60名以上が会場に集った。
ちょうふチャリティーウォーク体験を実施し、調布から深大寺までウォーキングとおそばのランチ企画を行った。
センターの紹介や取り組みをご紹介いただいた。5名のパネリストによるパネルディスカッション「運営委員の関りがセンターを変える、地域を変える」を行い、各地域の職員が意見交換する機会となった。
拡大センター長会議開催後、3地区から運営委員会を作りたい、休止中運営委員会を再開したいと報告をいただいております、刺激となったのではないかと感じている。

8 第10回調布まち活フェスタについて

- 【事務局】 3月10日開催予定。25名の実行委員会で企画を進めている。
10周年記念テーマ「ちょうふつう～調布の魅力を見せてやる～」
これは、超普通、調布通、調布痛、調布IIなどの意味を含んでいる。
調布の魅力について、様々な思いをこめたテーマに決まった。
運営委員の皆さまにもぜひご参加いただきたい。

《その他》 12:00～12:10 (10M)

9 情報共有

- 【事務局】 慈恵会医科大学 看護対象論で学生のインタビューを実施する。
今年は学生も多いため、追加で協力者を募集している。ご協力いただける方はご連絡をいただきたい。
- 【委員】 令和5年度調布市子ども・若者支援地域ネットワークシンポジウム
「ひきこもりなど青年期以降の若者支援」
福祉講演会「ヤングケアラーを知ろう～実践から学ぶ、私たちができること～」

10 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

資料5

- 【事務局】 11月18日 9:30～11:30に時間を変更。会場：3階ホール
12月19日 懇親会のため時間を18:00～20:00に変更。